



NO.1021

2015・5・31

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三、四四五八
F 四三三、四四五七



地区キャラバン 戦争法案反対の運動を訴えて

市内6カ所で宣伝!

日本の憲法を踏みじり、海外で戦争のする国に変えるのか、平和の道を歩むのか重大な局面を迎える中、「戦争法案」(平和安全法制)への代表質問が26日ありました。NHKではこの大問題の国会中継を放映しないという異常な事態となっています。

そんな中、日本共産党北見地区委員会は、この法案の中身と危険性を知ってもらおうと、各自治体をまわっています。

27日には菅原副委員長 市民もいました。

を先頭に網走に入って、出迎えた松浦市議、飯田元市議、菊地副委員長と市内6カ所で宣伝活動をしました。

「内閣の勝手な解釈で、憲法を変えて自衛隊員を殺し殺される事態にするわけにはいきません」「安倍首相は8月にも法案を通すつもりでいます。時間があまりありません。よくわからないという人もたくさんいます。慎重な審議を求めるためにも声をあげ一緒に頑張りますよ」と訴えると、手を振ってこたえてくれる



網走からも戦争立法反対!

5月23日に日本共産党網走市委員会は、市内スーパ一前2ヶ所で戦争法案反対の宣伝行動を行いました。この日は、党員・後援会員、平和憲法を守る網走の会(9条の会)の方など17名の参加で行いました。

宣伝カーからは松浦敏司市議と菊地宏市副委員長が、「自衛隊がいつでもどこでも出て行って「殺し殺される」戦争法案に断固として反対しましょう。戦争反対の一点で共同して戦いましょう」と訴えました。

参加者は戦争法案反対と書いたプラカードやポスターをかざして買い物中の市民に訴えました。署名も集めました。署名も集め、移動時に車のドアにポスターを張って宣伝しました。次回の宣伝は、30日午前11時から行います。

菊地ひろし まっしぐら!

24日、きくち宏後援会の「ごくろうさん会」が行われ、ました。議席に届かなかったにもかかわらず、40名もの人が駆けつけてくれました。厳しかった選挙戦を振り返りながら、悔しさを笑顔で語り合っている姿に、あらためて力強さを感じました。

さて、私も加わっている「平和憲法を守る網走の会」では、緊迫する安保関連法案(戦争法案)の速やかな廃案を求める署名活動をする事と、市議会に対して「戦争法案」の廃案を求める意見書提出を求める請願を提出することを決め、事務局では今その準備を進めています。

安倍政権は憲法9条を破り捨て「海外で戦争する国」へと変える今回の法案の中身が、国民に知られる前に、今国会で決めてしまおうとしています。どの世論調査でも、反対もしくは慎重審議を求めています。新しい市議会がどんな審議をするのかしつかり見守りたいと思います。

松浦有戦モ?

先週、つくしヶ丘4丁目の市営住宅A棟について書きましたが、22日の総務・経済常任委員会の審査で、質問し確認したことをお伝えします。

私は、入居者が使いやすい造りが必要だが、どのような考え方で設計したのかとの質問に、高齢者や障がい者などに安心して使用していただくことを考え40戸の全てをバリアフリー化した、駐車場についてもヘルパーさんをはじめ来客用のスペースも確保したと答弁がありました。他の委員からも雪置き場や1階のストープの排水筒の位置や北側の結露対策についても質問があり、それぞれ対策がなされているようです。入居予定は、来年の9月1日からとのことですが、現在、古い市営住宅にお住まいの方を優先に入居するようになると思います。その後、B棟50戸の建設が予定されています。

流水

政府は「戦争法案」を閣議決定し、審議が始まりました。「正社員ゼロ」法案と言われる労働者派遣法の改悪案、国民負担を増やす医療保険法の改悪案、プライバシー侵害するマイナンバー法(国民共通番号)、農協等を解体する農協法改悪案など、悪法が次々と。一方、国民の運動も「悪法ゆるさない!」との声を響かせ、国会の内外でたまたかの輪を広げています。五月十七日は、沖縄で新基地建設反対の三万五千人の集会が成功。「屈しない!」の文字がテレビで映し出され、強烈なアピールになりました。アメリカにも届けると言います。総理官邸は真剣に受け止めるべきです。▼また同じ日に行われた大阪の住民投票は、文字どおり激しい接戦の中で、橋下市長の大阪都構想は住民によって否決されました。新たな共同のたたかいが広がり、市民一人ひとりが、真剣に考えて、悩み、判断を下しました。この結果は、大阪のみならず国政にも大きな影響を与えています。▼北海道でもたたかいは続いています。JAや森林組合、漁連などが開いた、「TPP交渉の国会決議を守れ!国会議員に要請する集会」が行われ、初めて畠山和也議員と私と、衆参がそろって参加し、総選挙での躍進も実感しました。▼どの分野でも、安倍暴走政治に一人ひとりが真剣に向き合い、自らの問題としたたたかいが広がっています。国会でも一歩も引かない論戦に挑みます。国会内外のたたかいを広げ悪法を断念に追い込み、葬り去りましょう!
参議院議員 紙 智子